

中之島アゴラ構想基本方針（案）等からの整理について

コンセプト

産学官の連携により、

文化・芸術・学術・技術のあらたな交流・発信拠点となる“中之島アゴラ”の形成を推進する

“中之島アゴラ”の意義

- ◎ 世界に向けた社会的価値の創造...大阪大学中之島センターでの蓄積を活かした、さらなる社学連携の展開
- ◎ 中之島エリアのブランド化とシビックプライドの強化...国立国際美術館・市立科学館・(仮称)大阪新美術館の形成する“ミュージアムトライアングル”との連携・調和
- ◎ 後続するまちづくり計画への波及...中之島エリアにとどまらず、関西全体のまちづくり・産業創出に寄与

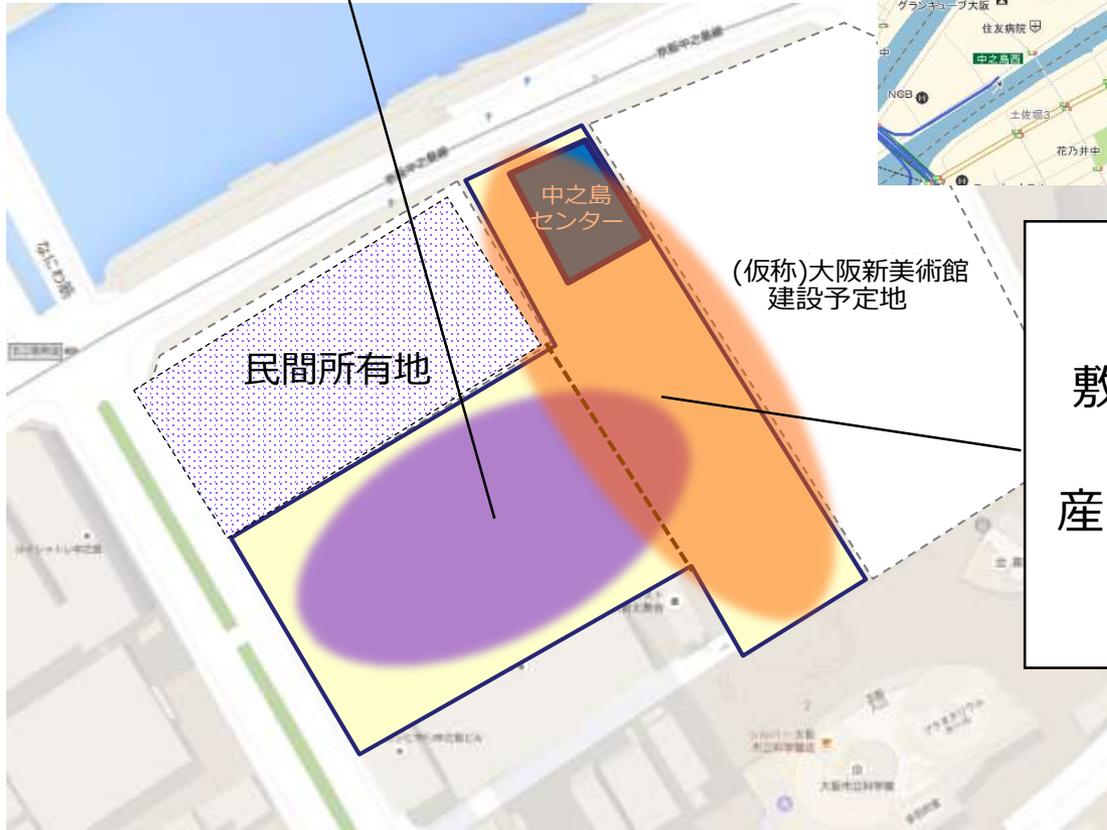
“大阪大学の知”の活用

- ◎ 国立総合大学としての高いポテンシャル...優れた人材、卓越した教育研究内容を有する我が国屈指の研究型総合大学。学部学生数は国立で最大。
- ◎ 産学連携における先進性と高い研究力...全国の大学に先駆けて「共同研究講座」等を設置し、「Industry on Campus」構想を実現。「革新的な大学ランキング」（2015年ロイター社）では世界18位、国内第1位。
- ◎ 世界と繋がるネットワーク...企業や市民が大阪大学と繋がるだけでなく、大阪大学が持つ国内外への強力なネットワークを通じて、中之島から世界に直接繋がる。

拠点予定地

未来医療国際拠点候補地

敷地 約7,500m²



社会学共創拠点

敷地 約1,000m² ※既存中之島センターを活用

産学共創クロスイノベーション・アート拠点

敷地 約4,500m²

アゴラ構想対象敷地 約12,000m²
(大阪市有地)

アート拠点

社会学共創型アート・リサーチと 共創事業推進

①(仮称)大阪新美術館との研究教育連携

- ・(仮称)大阪新美術館との共同研究（社会共創的芸術学の展開）
- ・(仮称)大阪新美術館での長短期インターンシップの実施
- ・展覧会、パフォーマンス、講演会など各種アート関係催事の共同

②中之島地区&周辺芸術諸機関との研究 教育連携ハブ構築

- ・近隣の芸術系諸機関と連携する実践的共同研究推進

③大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブの運営

- ・中之島地区に建設予定の芸術系ホール群（大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブ）の運営を行うことで、社会共創事業を推進する。

グローバル・ネットワーク構築と グローバル人材育成

④アーティスト・イン・レジデンス

- ・海外のアーティストを中之島地区においてレジデンス（制作滞在）することでアート作品制作と展示公開事業を推進する

⑤グローバル・インターンシップ展開

- ・海外の芸術系諸機関との連携を進め、相互にインターンシップを推進する
- ・大阪市内を中心に芸術系諸機関への海外からファシリテーター、学芸員、制作企画者などとの交流拠点として展開する

⑥グローバル・ネットワーク構築

- ・ヨーロッパ・アジアの芸術系機関・大学等との共同研究、共同作品企画制作などを通じたグローバルネットワークを構築していく

アート関連教育と 芸術・情報発信事業

⑦学生・社会人アート・ファシリテーター育成

- ・文学研究科などが推進するアート人材育成プログラムや大学院プログラムなどを中之島において展開することで、芸術系諸機関在職者や芸術系諸機関への就職を希望する学生・社会人教育を実施していく

⑧大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブの運営

- ・中之島地区に建設予定の芸術系ホール群（大ホール、ブラックボックス、ホワイトキューブ）の運営を行うことで、中之島地区を拠点とする芸術発信・社会共創事業を推進し、全国的にも傑出した芸術アート推進地区として整備し、世界に発信していく

⑨オープン・アーカイブズ&ライブラリー

- ・芸術系アーカイブズや芸術系図書の市民解放によるオープン・エデュケーションを実施し、社会共創を実現していく

実施内容

施設イメージ

③⑧	大ホール	客席数800	床面積合計600㎡、客席面積600㎡	計3,870㎡ (共用部除く)	
	ブラックボックス（中ホール）	客席数250	床面積合計400㎡		
	ホワイトキューブ（小ホール）	客席数130	床面積合計250㎡		
	楽屋・稽古場・工房		600㎡		
④	宿舍	20部屋	400㎡		計3,870㎡ (共用部除く)
⑨	ライブラリー・アーカイブ		600㎡		
全体	教員・特任居室	10部屋	300㎡		
	事務スペース		40㎡		
	会議室	3部屋	80㎡		
⑦	教室	中之島センターを活用		計3,870㎡ (共用部除く)	

産学共創クロスイノベーション拠点

	オープンイノベーションの加速	人材の育成	導入する機能
実施内容	<p>①リサーチクラウド・アライアンス（RCA） 誰にでも、何処にでも繋がる阪大研究所群の資源・サービスのワンストップ拠点。国内外ネットワークのハブ。</p> <p>②産学連携センター 分野や組織を横断する共同研究講座・協働研究所の設置。大学のための産学連携から社会のためのパートナーシップへ。</p> <p>③知財運用センター 戦略的知財の運用による事業化利益の確保。共同研究・ベンチャー起業等の事業化支援。オープン・クローズド戦略への対応。知財のプール化・パッケージ化によるオープンイノベーションへの貢献。</p> <p>④産学共創サポートオフィス 科学技術シーズと企業のニーズのマッチングイベントを定期的で開催。大学と企業が事業や価値を共創する場に。</p>	<p>⑤産学共創によるイノベーション人材の育成 共同研究ユニットにおけるOJTで、主体的に行動する力、多様な人や組織との連携を可能にする組織力、起業家マインド等を持つスーパー人材を育成。</p> <p>⑥社会人教育・ビジネススクール 「先端技術」から「マネジメント」まで医療を含む幅広い分野の社会人向け教育・研修プログラムを提供。オンライン講座の発信。</p> <p>⑦高度医療人材育成プログラムの拡充 ファーマトレイン、バイオデザイン、メディカルデバイス・デザイン等。</p>	<p>⑧共同研究ユニット RCAの強みである「光」「物質」「インダストリー」「ソサエティ」と医学系研究科の「医療」を関連させたテーマを企業と共に設定。10ユニット程度でスタート。</p> <p>⑨医療情報科学センター バイオインフォマティクス、ビッグデータ、AI、ロボティクス等の研究拠点機能。</p> <p>⑩アウトリーチセンター 学術研究から生まれるイノベーションの社会還元。成果のデモンストレーション。メディアへのプリーフィング、サイエンスカフェ、研究者座談会の開催。</p>

施設イメージ	①②③④	事務室		100㎡	計9,750㎡ (共用部除く)
	①②④⑤⑥⑧⑨⑩	総合解析室、交流スペース、打ち合わせスペース、展示スペース等		1,000㎡	
	①⑤⑧	基盤研究施設	1 研究ユニットあたり約400㎡	4,000㎡	
	②⑤⑧⑨	共同研究室	20部屋	4,000㎡	
	⑧⑨	産学連携研究プロデューサー室		250㎡	
		技術室		250㎡	
		計算サーバ室		100㎡	
	全体	拠点長室		50㎡	

社会学共創拠点

	中之島キャンパス社会学共創拠点化	人材育成機能・社会学共創人材ネットワーク構築	社会学連携のグローバル化
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学の社会学共創の窓口となるアゴラ・イノベーションセンター（仮称）を設置し、社会学共創事業を実施 ・ミュージアム展示場を設置し運営 ・ビッグデータの市民向け検索・閲覧機能を運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・中之島地区のみならず地域社会やその諸機関とのネットワーク構築と社会学共創活動の推進 ・中之島地区を拠点にした卒業生・同窓生との連携を強化し社会共創を実現していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル地域連携の推進 自治体・企業と連携したグローバルな地域活性化の推進 ・社会貢献事業の国際発信 適塾記念センターオランダ学部門を活用した大阪大学の歴史・社会貢献事業の国際発信 ・多言語化に対応した共創 医療通訳、インバウンド対応、各種情報の多言語化に対応した共創事業
施設イメージ	センター長室、事務室、会議室、展示スペースなど（※既存中之島センターを活用）		

拠点イメージ

大阪大学 中之島センター

社会学共創拠点

センター長室
事務室
会議室
展示スペースなど

※既存中之島センターを活用

敷地 約1,000m²
延床面積 約8,200m²

新たに設置

産学共創クロスイノベーション拠点

事務室
基盤研究室
共同研究室
産学連携研究プロデューサー室
技術室
計算サーバ室
拠点長室
その他（総合解析室、交流スペース等）

アート拠点

大ホール・ブラックボックス・ホワイトキューブ
楽屋・稽古場・工房
宿舎
ライブラリー・アーカイブ
教員・特任居室
事務スペース
会議室
教室（※既存中之島センターを活用）

敷地 約4,500m²
延床面積 約20,000～25,000m²程度（共用部含む）

事業費：約60～80億円以上